

定員 450名

第 82 回

ゲノムで知る 長寿の秘密

老年学公開講座

日時

平成17年10月20日(木)
午後1時15分～4時30分

申込不要

会場

江戸東京博物館ホール

入場無料

プログラム

◆講演◆  手話通訳を同時に行います。

1

「ヒトが遺伝子に気づくまで」

東京都老人総合研究所 副所長 丸山 直記

2

「おばあちゃんが決めているあなたの体質」

健康長寿ゲノム探索研究チーム 研究部長 田中 雅嗣

3

「長寿遺伝子を求めて」

東京都老人総合研究所 老化ゲノムバイオマーカー研究チーム 研究部長 白澤 卓二

◆質疑応答◆ 講師全員

●司会 東京都老人総合研究所 副所長 丸山 直記



墨田区横網1-4-1

財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団
東京都老人総合研究所
広報・普及担当
電話 03-3964-3241 内線3008

【主催】東京都老人総合研究所

【共催】墨田区

【後援】東京都江戸東京博物館

（地下鉄大江戸線 両国駅 徒歩1分）
（JR総武線 両国駅西口 徒歩3分）

ゲノムで知る 長寿の秘密

「ゲノム」とは遺伝子集団の総称です。それは、数え切れないほどたくさんの星から構成されている星雲に例えることができるでしょう。ところが、星の数ほどあるのではと思われていたヒトの遺伝子の総数は、2003年までのヒトゲノム解析計画により、予想より少ない約2万2千個であることがわかりました。そして遺伝子の数や位置が解明されても、その機能は必ずしも解明されていないのが現状です。

2005年度から東京都老人総合研究所は研究体制を刷新し、二つの大きなテーマからなるコア研究を開始しました。その一つが「老化ゲノムの解明」です。今回はコア研究の開始に当たり、いつもとは異なった趣向の公開講座を企画いたしました。

最初に、ヒトが遺伝子に気づくまでの歴史を振り返ります。子が親に似るということは古代の人々も気づいており、その性質を利用して野生動物の家畜化や植物の品種改良に応用していました。遺伝の仕組みが飛躍的に解明されたのは第2次世界大戦以後ですが、古今の学者たちが遺伝という現象を説明するために行った様々な試みについてお話しします。

次に、ミトコンドリアのゲノムについてお話しします。私たちの細胞内には、核に存在するゲノムとミトコンドリアに存在するゲノムがあるのですが、実はミトコンドリアは祖母・母親からしか受け継がれません。従ってミトコンドリア遺伝子をたどって行くと、人類のイブといわれる女性に行きつきます。この研究は私たちの健康・長寿に貢献するばかりではなく、人類学にも応用されていることなどをおもしろく解説いたします。

最後に、ゲノム研究の成果を生かした長寿遺伝子の探索についてご紹介します。ギネス記録の最高齢者のエピソードから、インスリン関連遺伝子やアディポネクチンなどのホルモンに関する最新の研究までを取り上げます。この21世紀の初めに解読が終了したヒトゲノムの成果を土台に、今世紀の重要な課題である老化・老年病の克服に取り組むことが私たちの役割です。

長寿の謎に挑む私たちのゲノム研究の一端に触れていただければ幸いです。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

東京都老人総合研究所 副所長 **丸山 直記**

お問い合わせ先



財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団
東京都老人総合研究所

広報・普及担当 電話03-3964-3241 内線3008